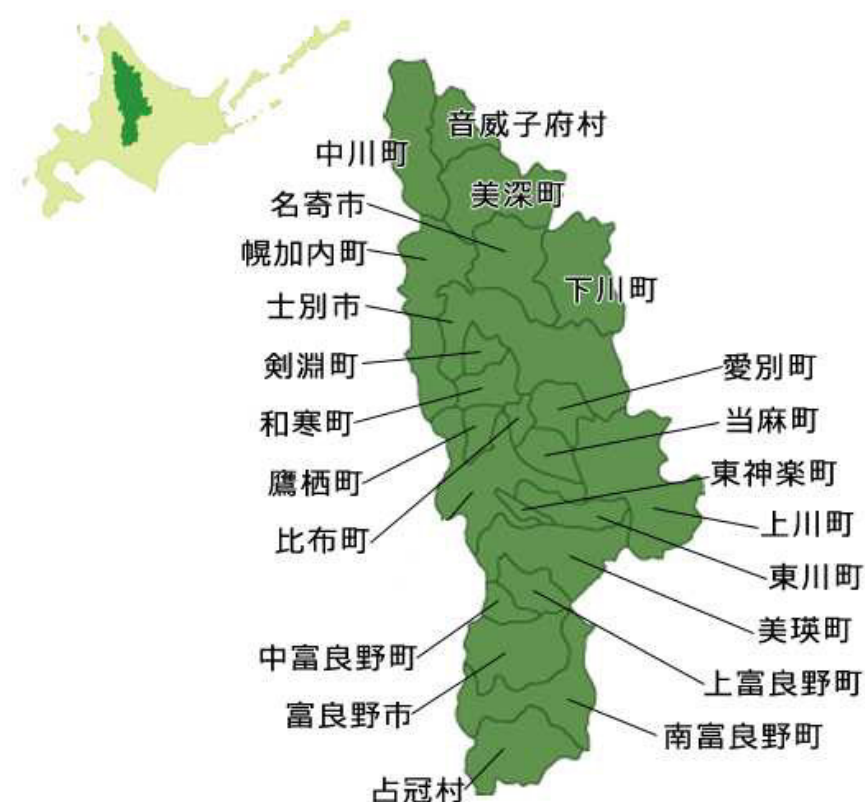


第67回 北海道公立小中学校事務研究大会胆振大会

子どもたちの生活の場を意識した 「教育環境整備」 ～個人の実践レポートから広がり求めて～

第3分科会 別冊資料



上川管内公立小中学校事務職員協議会

名寄ブロック

1. 「生徒の生活の場を意識した『教育環境整備』」 B中学校 － 1～2P
2. 教育環境整備(簡易網戸の設置) C小学校 － 3P
3. 学校の財政財務を考える
～保護者負担軽減のとりくみ～ D小学校 － 4～6P
4. 学校祭での体育館入口暗幕の設置 E中学校 － 7～8P
5. 児童との清掃活動をとおして
～生活の場としての学校を考える。～ F小学校 － 9～10P
6. PFシートを活用した「保護者負担軽減について」 G中学校 － 11P
7. 「H小学校の教育環境整備」 H小学校 － 12～17P
8. 現在の北海道(上川)の学校事務を取り巻く言葉の整理 18P

生徒の生活の場を意識した「教育環境整備」

B 中

1. 暑さと虫（ハチ&蠅）対策

連日、30℃以上の暑さが続いた6月第1週目。窓を開けたはよいが、スズメバチが入ってくる。この時期一斉に活動が活発化したのか入ってくる頻度が高く、そのたびに騒ぎとなる。（教頭が殺虫剤とハエたたきを持って現場へ急行する。）

網戸の数が少なく実際は用を足していない。数年来予算要望しているが年に数枚の設置では向こう何年かかるかわからない。今年度分の早期設置を依頼したが色よい返事はなく、いろいろと考えて以下の対策をとった。

（1） ハエたたきを全普通教室に、殺虫剤を各フロアに～2本常備

7月7日（月）

（2） 簡易網戸の設置

3教室9枚設置

① 網戸設置状況は ・普通教室・・・9教室36カ所の内、3教室9カ所のみ

・特別教室は調理室のみ、特別支援教室、職員室、保健室等は1／4程度

② スズメバチなどが侵入し危険なため急遽簡易の網戸を付けることに。

③ 費用・・・防虫網（30M）8,100円×3、平モール（75本）15,015円

※ 市教委に材料費をお願いしたかったが・・・。

※ 平モールのほかに胴ぶち様のものが必要だが余り材を使った。（節約）

④ 業務技師による作業で主に北側（特別教室）12教室とトイレの計80箇所設置

※ 廊下をはさんだ両側の教室の窓を開けることで風通しがよくなる。

※ 設置後の様子としては、学年によりばらつきはあるものの北側教室の窓も開けて風を通して（昨年は見られなかった。教室（特別）の戸を開け放していても支障が無いということ）

※ 普通教室や簡易網戸を付けられない構造の窓には引き続き予算要望していく。



内側に網を付けた。ガラス窓4枚全てを左に寄せると風は通るがハチ、蠅等の虫は入らない。

少々釘跡は残るが、原状回復は可能。

進化する簡易網戸

2015年度版



ここに端材を取りつけてネジなどが効くようにした。

バージョン2

階段の踊り場（窓枠がアルミなのでネジや釘が効かない）ふと思いついた方法でやってみた。4辺のうち鍵のある右側中程までと上部、左側はタッカー止め、下部はマジックテープ止めで開閉できる。

このバージョンは網を窓サイズに裁断してバイアステープ（バイアスは高いので今年はシーチング生地で作成した）をミシンがけして縁処理をしている。



2016年度版



バージョン3

網戸作戦も3年目。今年は縁始末を黒のガムテープでやってみた。（ミシンがけの手間が省ける）工夫したところは初期バージョンで小舞を取りつけた部分にスキマテープを貼っている。

ここは部活にも使う格技室（西日がきつい）なので予想通り部活の顧問が喜んでくれたが、意外にも外部の夜間開放利用者にも好評だった。（絶賛！だったらしい。）聞くところによると蛾の侵入が悩みだったとのこと。

このバージョンを班研修で紹介したところ名寄小でも取組んでくれてその取組を紹介するレポートも出してくれた。職員の反応も良かったとのこと。

第2回名寄市小中学校事務研修会 実践報告

◎教育環境整備

前回、市内中学校のIさんの教育環境整備の実践例を参考にし、本校でもIさん式簡易網戸を作製・設置しました。

事務のSさんから材料費(網戸ロール・布テープ・裁縫用マジックテープ)の予算を急ぎょ組んでいただき、7月中旬の3日間で技師のSさんと簡易網戸を作製・設置しました。設置場所は、1～3階の各階非常口ドアと配膳室窓です。

スズメバチ・暑さ対策に皆さんもご検討してみてください。職員の評判も上々です♪「別の場所にも設置してほしい」といった声も・・・(汗) 来年、検討したいです。

簡易網戸設置① 非常口ドア



簡易網戸設置② 配膳室窓



マジックテープは5cm程度、3か所ぐらいあれば問題ありませんでした。また、ガンタッカー(DIY工具)で数か所窓枠と網戸を固定するととても簡単です！



ガンタッカーの使用イメージ

学校の財政財務を考える

～保護者負担軽減のとりくみ～

D 小学校

1 はじめに

今、全道協議会職務検討委員会では、「学校財政財務活動」「保護者負担軽減」についてのアンケート調査を行っています。その集約状況については、全道事務研「第5分科会」で交流・論議されるということです。

さて、私たち学校事務職員は、市町村経理を担当しています。単に、伝票処理（今は、システム入力と言った方がいいかな）ではなく、学校全体の予算となるように取り組んでいます。具体的には、校内の実情に応じ校内再配分案を作成し、職員会議で提示をします。その後は、執行状況を提示しながら、職員との連携やより効果的な予算執行を行います。年度末には、決算書を作成し、執行結果を分析・評価・次年度に向けてのサイクル化を図ることが求められます。

一方、学校の教育活動全体を考えると、市町村経理などの公費だけでは成り立っていないのが現状です。私費として、教材費や給食費・PTA会費・修学旅行費などを保護者から集めています。受益者負担の観点からやむを得ず集めていますが、できるなら全額公費化したいものです。保護者負担軽減のとりくみは近年、保護者負担の公費化とも言われています。学校全体のお金の流れを把握しながら、保護者負担軽減に向けたとりくみが必要になっています。

2 市町村配当予算について（自分が勤務した市町村では）

- （1）N町 ～ 前年度配当予算要望書を作成し査定をうけて、配当される。事務消耗品一つ一つを積み上げての要望。現金による行事費があり、町外ホームセンターで安いコピー用紙を購入したことも。
- （2）S市 ～ 需用費にかかる予算要望はなし。基準単価が決められ、学級数や生徒児童数により提示（配当）される。急激な学級数増減などは激変緩和として調整金額がついた。
- （3）N市 ～ 現任校に勤務して5年目。現在まで、前年度と同額の配当である。ただ、政策的に新聞購入がすすめられ、その項目だけ増額配当がされた。前年度ヒアリング（営繕及び備品）はあるが、項目の変更（役務費→需用費も可）だけで増額要求はだせない。配当基準はない。予算配当説明会もなく、N市内学校の配当状況もわからない。（市事務研で交流することによりわかる。大切な機会である。）

3 保護者負担軽減に向けたとりくみ

(1) 学年費（教材費）を決定する時に

本校では、教務部の担当係が中心となり、学年費を決定します。4 月当初、各担任は学年費集金内訳を作成し、担当係に提出します。担当係は、1 学年から 6 学年まで内訳を一覧表にして、全体を確認します。管理職に決済をもらい、4 月下旬に保護者へ文書を配布します。

【事務職員の働きかけ】（他職種との連携）

- ア 4 月当初のため、市経理の配当金額は確定していないが、各担任には、教室設営費（学級で自由に使うお金）の配当金額を知らせ、教室設営費を考慮し、学年費の金額を設定するように伝える。
- イ 就学援助（準要保護）の学用品費上限額が¥9,200 であるので、この金額を考慮してもらうよう働きかける。（就学援助の学用品費は市教委から直接、学校長の口座に振り込まれる。¥9,200 を超えた場合は保護者から徴収しないといけないため。）
- ウ 前年度の学年徴収額を大幅に超えないようにしてもらう。できれば、少なく。（学年が上がるにつれ、多く徴収している。前年度ベースに教材の選定をしてもらうために。）

(2) 今年度のとりくみ

今年度は、新たに年度末の職員会議にて提案を行いました。現任校はあと 1 年で閉校となるため、年度末の残予算で文房具などを購入し次年度へ引き継げないということ、市経理から、学級で使用するものを購入できる目途がたったため、別紙の提案をしました。

提案の前には担任数名と話をし、学年当初に何が必要かを把握しました。今まで、朝の打合せ時に話をしたり、担任から聞かれたときに答えることをしていました。今回は、文書での提案なので、学年による差はなく、すべての職員に周知することができました。4 月に入り転入職員にも、この提案文書を渡し、理解を得ました。

4 まとめ

現在の学校に赴任し、学年費について不必要に集めていないかと、気になっていました。教員は、自分の授業やクラスで必要と思うものを購入しますが、予備費的に多く集めていないか（現金で購入できるので多くなりがち。自由に使えるから？）、同種で安価な教材はないか、など全体で確認すれば購入する必要がある場合もあります。事務職員の立場からは、市町村経理で購入できるもの或いは購入すべきものが学年費で支出されていないかどうかは確認する必要があります。直接の担当ではありませんが、事務職員として学校のお金の流れは把握すべきと思っています。

保護者負担軽減に向けて
～私費負担の公費化～

学校が保護者から集めるお金は、必要最低限にすべきです。さまざまな収入の保護者がおり、同じ 100 円でも、その価値はさまざまです。決して、自分の感覚だけで考えてはいけません。

そのため、毎年見直しをしながら必要な教材を選定し、年度末には決算報告をしているところです。

これから年度末年度始めにおいて、教材の選定が行われます。次の事項を考えていただき金額の決定をしていただきたいと思います。

学年費の設定を前年度と同額、あるいは、下げる方向で考えてほしい。

①学級設営のため、次のものをお渡しします。

- ・色模造紙（20 枚入り） 1 本
- ・4 つ切り画用紙（100 枚入り） 1 ㍻
- ・プロッキー（12 色） 1 箱
- ・フラットファイル A4 児童一人あたり 2 冊
- ・書道半紙（1000 枚） 1 ㍻ *3 年～6 年

②次のものが学級になれば購入します。

- ・鉛筆削り
- ・セロハンテープ台

③市経理の学級配当 ¥ 12, 000 は確保します。

当初の学級設営や教室運営で必要なものを計画的に購入してください。

④学校でそろえる消耗品として下記の物品を追加します。

色画用紙 → 物品庫に保管。必要な枚数をお使いください。

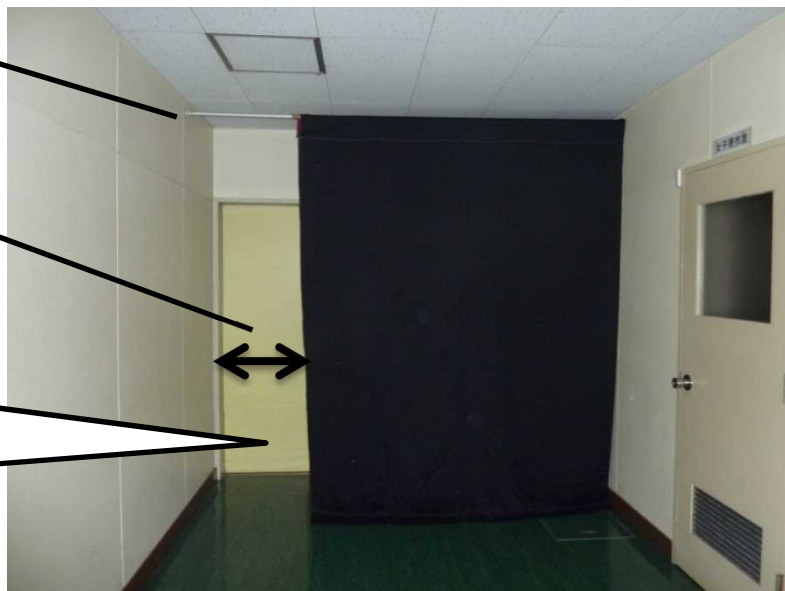
タイトル 学校祭での体育館入口暗幕の設置

1. 実践種別	学習環境整備（ ○ ） 生活環境整備（ ）
2. 現状における課題	・学校祭の実施にあたり、体育館の入口の引き戸を開けたままにすると光が入ってしまう。また、引き戸を閉めてしまうと開け閉めする際に音も響いてしまうため、光を遮る対策を考える必要がある。（昨年度までは引き戸は開けたままだったとのこと） - 上記の理由から、教頭より学校祭にむけて廊下と体育館をつなぐ入口の前に暗幕をつけたいと相談を受けました。
3. 具体的な実践内容	・まずはどこで手に入るか検討がつかなかったため、事務研で聞いてみることにしました。事務職員の皆さんもこれまでに購入したことはないとのことでしたが、市内小学校で使用していない暗幕があるとの情報を得ることができました。 ・結果、暗幕を譲っていただくことができましたが、取り付け方法に悩みました。2枚譲っていただいたうちの1枚が体育館の入口とほぼ同じサイズだったので、そちらを使用することにしました。 ・最初はカーテンレール＋カーテンフックの取り付けを考えていましたが、暗幕にカーテンフックを差すところがついていなかったため、ミシン縫いでカーテンフックを差す部分をつけることを考えましたが、そうすると暗幕自体の長さが短くなってしまう・・・。 ・最終的に、暗幕の長い方の片側を折ってミシンで縫い、そこに突っ張りポールを通し釣り下げることになりました。暗幕だけでは入口全体を覆いきれないため、体育館の引き戸を片側によせ一人分くらい通れる隙間をあけ、そちら側に暗幕を寄せて釣り下げることになりました。
4. 連携について	・事務研で相談したことで、市内小学校で使用していない暗幕の情報をいただき、2枚を譲っていただきました。 ・取り付け方法で中々いい案が浮かばなかったが、職員数人で実際にその場を見てアイデアを出し合って上記の方法で行うことができました。
5. 成果と課題（展望）	・取り付けに必要なものの購入だけで、予算を抑えることができました。今回購入したもの・・・突っ張りポール約2700円 - また、設置するために壁に穴を開けたりせずに済んだこともよかったかなと思いました。 ・保護者向けアンケートで、「体育館前の暗幕が、光が入らないよう工夫されていて良かった」という意見をいただきました。

突っ張りポールを
張って固定しました

一人が通れるくらいの
隙間を空けました

直進して引き戸にぶつ
からないよう、また、
暗幕を引っ張ると危な
いので、動かさないよう
に注意を促す張り紙を
しました。



体育館側からの写真です。
引き戸はこの状態で動かさな
いようにしてもらいました。

当日は引き戸や横の壁に、
・引き戸は動かさないようお
願いします。
・こちらから出入りをお願い
します。
などの張り紙をしました。

暗幕を折ってミシンで縫い、
突っ張りポールを通しまし
た。



教育環境整備レポート （生活環境整備に関わる実践報告）

タイトル 児童との清掃活動をとおして～生活の場としての学校を考える。～

F 小学校

1 学校の現状

校舎の改築移転が予定されている古い校舎のため経年劣化による小さな営繕は行っていますが、校舎移転ということもあり大規模な営繕などは行われていません。しかし校舎が古から「校舎が全体的に汚い！」とはならないので、学校全体で清掃活動も含め環境美化には気を配っています。

2 具体的な実践

異動 2 年目の本年度より清掃指導の担当となりました。事務職員となって清掃担当は、歴任校でも経験はなくはじめて清掃担当になりました。担当場所は、プレールームと 1 階の廊下を児童（縦割り班）一緒に金曜日以外の課業日に清掃をしています。

3 他職種等との連携や活動について

児童と一緒に清掃をしているので、児童と連携するということになります。（清掃担当は清掃の指導であり、指導者自らが清掃を行わなくてもいいと思うのですが）

廊下は、ピータイル仕様なので経年劣化によるタイルの破損や剥がれ、浮いているタイルが頻繁に見つかります。自らも雑巾がけの作業を行っていますので、タイルの破損を見つけた場合は、業務技師さんと連携し修繕をしています。

4 実践で得られたこと

清掃担当箇所は、長さ 30 m、幅 5m 位ありモップを使用しないで行う雑巾がけは重労働で「これって筋トレ！」と感じているので児童にとっても清掃が大変だということに気が付きました。

また、ここ数年、机上で行う業務が増え児童生徒と接する機会が少なかったのも、児童理解をするためや、児童の活動の様子を知るよい機会となり、児童の名前を覚える機会となったことが得られたことです。

5 成果と課題解決に向けて

成果は、実際に清掃を自分でやってみたことに尽きます。前述のとおり清掃活動が大変だということが理解できたので清掃の方法や清掃道具について見直すきっかけになったことです。

○週に数回モップに付着したゴミくずを自身で取り除いて使用していますが学期に 1 度しか洗濯をしていない汚れたモップ使い清掃することに疑問を感じました。

○掃除に「ほうき」を使用することについて

前任校では、モップ型のほうきを主に使用していました。本校では昔ながらの「ほうき」と「ちり取り」を使用している。学校以外で「ほうき」を使用する機会は少なく、低学年にはとても難しい作業に思えたので清掃用具や清掃方法に一考の余地があるのではないかと感じ清掃担当と清掃方法等について検討しました。

6 その後

雑巾がけが大変なので特別教室の雑巾がけの回数を減らす。モップは、清掃後掃除機でゴミを吸い取るようにする。ほうきの使用を減らす等清掃等、清掃方法の変更を職員会議で提案してもらい少しだけ清掃方法が変わったことは収穫なのですが、使いやすい清掃用具の更新やモップの洗濯回数も話題になりましたが、予算の都合上対応できず次年度以降の検討課題が残りました。

7 実践の雑感

「児童生徒との活動のススメ！」

皆さんは、児童生徒とのかかわりを持っていますか？

私ですが、20数年前の初任の中学校では、小規模校という事情で6年間野球部の指導をしていました。そのかかわりで、保護者との人間関係が構築され、教材の依頼（木材加工の材料依頼）や、野球グラウンドの環境整備（野球用ベンチの補修材料の提供）やグラウンド整地用の砂を、砂利プラント勤務の保護者に無償提供された等のことがありました。

また、体験学習（キャンプ学習の同行・登山指導）など、校長の方針「職種にこだわらず全職員が生徒の教育にあたる！」でしたので、業務の一環として携わっていました。

小規模校勤務の方は、全校給食や遠足の同行？？なんてケースもあるのでしょうか？・・・実際に事務職員が教育活動に携わることにについては義務ありませんし、事務職員は「事務に従事する」（学校教育法第28条）となっていることから、事務職員が教育活動に携わることに賛否が分かれるところだと思います。

学校規模が大きくなればなるほど、机上の事務処理業務が増え、児童生徒と接する時間が取れにくくなります。（自分の事務処理能力が劣っていることが原因で事務処理能力の高い人には無関係の話だと思いますが・・・）

何が言いたいかというと・・・机上の業務だけでは気が付かない事柄があり、児童生徒と活動することによって子ども目線の視点での新たな発見や気づきがあり、自分の業務に活かすきっかけやヒントにつながり視野が広がるからです。

私たちは、行政的な事務を処理する末端の事務処理型「事務職員」ではなく、児童生徒が学んでいる学校教育現場に配置されている学校現場を熟知した「学校事務職員」だからだと思っています。

児童との清掃は、忘れかけていた自分を見つめ直す良い機会となりました。皆さんも積極的に児童生徒と関わってみてはどうでしょうか？

保護者負担軽減について

今年度、入学した1年生の就学援助家庭が、2・3年生の倍以上の24世帯。そのうちの半分12世帯は、国が実施した「国民生活基礎調査」の貧困線（平成24年は122万円）に満たない所得の家庭で、1学年の貧困率は11.7%、約8人に1人、クラスで4人くらいは経済的に困難な家庭の子どもがいる状態です。

新1年生の家庭状況から、子どもの貧困を身近な問題として強く感じ、事務職員として保護者負担軽減に力を入れて取り組みたいと考えました。

1. 保護者負担の実態把握

校内の私費全体を把握するために、全道協議会のHPに掲載されている「PFシート」を入力しました。教育計画や職員会議資料などで調べ、担当の先生にも確認しながら入力してみて、様々なことに気づきました。

- ・ シートには載っていないPTA会費や各部活の諸費用もあるので、保護者負担額や私費の割合が予想以上に多かった。
- ・ 入学時の費用は、シートに入力した学校で指定している物以外にも色々あるので、就学援助給付の新入学学用品費18,800円があっても負担が大きい。
- ・ すぐに取り組める検討、改善課題を見つけることができた。

2. 検討・改善課題

・ ゼッケン940円

次年度教材備品要望で要求して、学校保管の学校備品にできないか検討する。

・ 美術科（画用紙等）1,800円

作品キットのみ集金して、減額するよう教科担当と話してみる。

・ Q-U診断440円

次年度予算要望ヒアリングで、Q-U診断分の予算増額を要望してみる。

3. 校内で共通認識を持つために

事務職員が担当している部分以外の私費について知らないことが多く、全体を総額にして考えたこともありませんでした。

私費の集金、会計を行っているのは事務職員だけではないので、校内で共通の認識を持って、保護者負担軽減を全職員が意識するよう、情報や課題の発信が大切だと感じました。

今後、入力したPFシートに解説など加えて職員に配布したり、事務だよりに、就学援助率や子どもの貧困対策などの情報を掲載して、様々な立場で集金を行う際に、保護者負担軽減を意識して計画をたてるように働きかけたいと思います。

職員の保護者負担軽減への意識が高まるように、実践していることなど交流したいです。

H 小学校の教育環境整備

4 月に採用されて早 10 ヶ月。色々な人に助けられてここまでできました。

初任なので、とりあえず人と関わっていこうと思い色々な人と話す努力をしています。他にも地域の行事に積極的に参加してコミュニケーションの場を作っています。最近の目標は保護者の顔と名前を覚えることです。

1. 備品点検や美化活動について

H 小学校に赴任してから、可能であれば授業や少年団の場にこっそりお邪魔して、実際に学校の物品を使っている様子を観察しています。何をどこでどのように使っているかわかれば、来年の同じ時期に足りなくなっている物品をあらかじめ買っておくことができると思ったからです。また、先生方や保護者の方とのコミュニケーションの場をつくることにもつながっています。

観察していると、全然使われていない備品をいくつか見つけました。よく調べると壊れていて使用不可能なものがあったり、逆に壊れてはいないが古すぎて買い替えの時期だと思うもの（例：扇風機等）も多くありました。

壊れて使えない物は廃棄して、新しい物を置くスペースを作らないと本当に必要な物が見えてこないと思ったので、とりあえず断捨離に勤しんでいる今日この頃です。

（特に 11 月～12 月は毎週のように廃棄決議書を作成していました）

他にも、本当はあるのに（棚がぐちゃぐちゃすぎて）目的の物が無いと勘違いし、物品を購入する事が 4～6 月によくありました。それを経験してからは整理整頓を心がけています。物品がたくさんある教材室は夏休みに、器材室は冬休み中に全職員で整理しました。その際、以前から勤務している先生方から「こういうのあったんだ」という声もあったので、学校にどういう備品があるのかを整理しながら知ってもらう点においても、全職員で整理することは小規模校ならではのようです。

大きな学校では、1 年に 1 回は教科担当ごとに備品点検を行っていると言いましたが、H 小学校では教員数が少ないためにあまりやっていたそうでした。

そのため 12 月の職員会議で備品点検の計画を提案しました。（別紙参照）大きな学校では教務が提案する学校もあるようですが、本校では事務がやっています。

今年度はいらぬ物を廃棄して、来年度の備品要望につなげていこうと考えています。

このようなことが教育環境整備となれば嬉しいです。

普段からも校内を見回って、必要な物が無いチェックしています。また、先生方の「〇〇が欲しい」という声を聞き逃さず、必要なものは購入していきたいと思います。

2.児童アンケートについて

きっかけは、10月に来年度予算編成と校舎営繕の要望を準備する際、職員と児童を対象にアンケートを取りました。児童アンケートについては、昨年のデータが残っていたので、それを元にして自分なりに改良しました。改良する際は、名寄・土別ブロック合同研修会や他の研修会で紹介された児童アンケートを参考にしました。（別紙参照）

まず、10月の職員会議で3年生～6年生を対象に児童アンケートを実施する旨を提案しました。（提案文書別紙参照）昨年も行っていたこともあり、教員からはアンケート実施期間だけ変更してもらえれば大丈夫、と言われました。（今年度本校は市へき複研究大会の開催校で、その準備が忙しかったため、研究大会後～学芸会本番までの間を狙って変更しました。）

担任の先生方のご協力もあり、回収率は100%でした。（3年生～6年生：計19名）普段、子どもの書いた字を読むことに慣れていないせいか、解読するにも少し時間がかかりました（笑）。同じようなことを書いている子は、その子達の人間関係が垣間見えて少し面白かったです。

アンケートを集計し、市経理で賄えるものは賄い、出来ないものは教育委員会に要望しました。中には「これをそのまま要望に出して良いのだろうか」と思うものもあり（ターザンロープが欲しい等）、そういうものは会議で先生方に相談して、結論を出しました。

3.児童向け事務だよりについて

児童アンケートを実施したままにしておくと、折角アンケートに協力してくれた児童に失礼だと思い、特に意見の多かった事項の回答を事務だよりに載せました。

この事務だより「智恵袋」は10月から作り始めました。A3サイズのカラーで、図書スペース等子どもが集まりやすいところに貼りました。普段、私はあまり図書スペースには行かないので子どもたちの反応を見てはいませんが、学校司書さんの話だと「給食を食べた後の歯みがきするときとか結構見てる子いるよー」ということで、嬉しくなって児童アンケートの回答もこれでやろう、と思いました。

児童向け事務だよりは、学校や勉強、事務とは関係ない内容の、学校では教えてくれない豆知識のようなものを載せています。また、これは全学年に向けて作ってあるので、低学年も読める様に大きめの字でふりがなをふる工夫をしました。ある意味私の息抜きになっています。

そんな自分なりに取り組んだことを下記の表にしてみました。

扇風機	年度初めの事務研で扇風機の話題があがっていたので、H小の扇風機を調べてみると、一番新しい物で 1990 年製。発火の恐れがあるので、安全対策も考慮し、扇風機を 5 台購入しました。
書写展示シート (先生の声より)	普段は藍色の画用紙にクリップで半紙をとめて展示しており、見栄えが悪い。作品展示で作品を移動させるとき、一枚ずつはがす手間がかかるという先生方から意見があり購入しました。
黒板用 1 メートル定規 (先生の声より)	本校にあるのは何度も修理した 1 メートル定規 3 つ&木製の 1 メートル定規 1 つ。先生方曰く「新しくて（壊れていない）、透明で、マグネット付の 1 メートル定規が欲しい」という声があり、各学年に 1 つずつ用意しました。
サッカーボール (「2.児童アンケート」に関連)	11 月に 29 年度予算を考える際、児童アンケートを実施しその際、「サッカーボールが欲しい」とありました。実際にボールを見ると、剥げて黒い模様が無いボールばかり。これサッカーボール…？ と思うほどボロボロになっていたもので、購入しました。まだまだボロボロのボールがあるので、今後も計画的に購入していく予定です。
アコーディオン	アコーディオンを全く使っておらず、これから使う予定も無いようなので、他校に譲りたいと考えました。教育委員会の承認を受け、12 月中旬にサイボウズの「なよろー」で市内事務職員に呼びかけし、譲渡しました。

こんなことばかりやっています。

これからも **H小学校の教育環境整備** を続けていきたいと思います。

予算要望ヒアリングにむけて

28.10.13

事務

教育委員会へのヒアリングに向けて、校内での要望事項を取りまとめます。

要望については予算上、難しいものもあるかと思いますが次年度の構想を具現化するうえで必要なものをあげてください。予算要望に関わって今年度も児童からのアンケートを行っていきたいと考えています。児童からのアンケートも職員で検討した上で予算要望に反映させたいと思います。

児童アンケートについて（案）

1 目的

子どもたちからの声を予算要望に取り入れることによって、学校をより良くしようという意識を高める。

2 対象

3年生～6年生

3 実施時期

10月24日（月）～27日（木）

去年と同じ時期に設定しましたが、市へき複研究大会もある週なので、忙しかったら24日（月）～27日（木）に変更可能です。いかがですか？

4 実施方法

10月24日～27日の間に配布し、休み時間などに記入。担任を通して回収

5 アンケート内容

① ^{がっこう}学校 ^{なか}の中で ^{なお}直してほしいところがありますか？

② ^{べんきょう}勉強 ^{やす}や ^{じかん}休み時間 ^{つか}に使うもので ^ほ欲しいものはありますか？

③（おまけ） ^{がっこう}学校 ^よの良いと思う点 ^{おも}は ^{てん}なんですか？

6 事後

あがってきた要望の実現にむけた調整を行っていく。



ねんど がっこうじむ

2016年度 学校事務のアンケート



しむ
事務

ねんせい じどう
3～6年生の児童のみなさんへ

しょうがっこう よ がっこう みな と おも まいにちべんきょう
H小学校をもっと良い学校にするために、皆さんにアンケートを取りたいと思います。毎日勉強し

あそ 遊ぶ
たり、遊んだりして「ここ直してほしいなあ」、「こういうものがあたらいいなあ」ということがあっ

おし
たら教えてください！



がっこう なか なお
☆学校の中で直してほしいところはありますか？（例：照明を新しくしてほしい）

べんきょう やす じかん つか ほ
☆勉強や休み時間に使うもので欲しいものはありますか？（例：本棚がほしい）

がっこう よ おも てん
☆（おまけ）学校の良いと思う点はなんですか？（例：2階女子トイレが洋式になった）



がつ にち もく たんにん せんせい わた
10月27日（木）までに担任の先生に渡してください。





平成 28 年 11 月号

しむ
事務

さいきん ひ こ
最近 は 冷え 込ん で しま した が、みな か ぜ
き
を つ け て く だ さ い



ね。

さて、10月に3～6年生を対 象に「学校事務のアンケート」を行 い ました。

たくさん いけん
沢 山 の ご 意 見 あ り が と う ご ざ い ま した ！ そ れ ぞ れ に つ い て い く つ か お 答 え し た い

おも
と 思 い ま す。



1. 学校で直してほしいところはありますか？

きゅうしょく え れ べー たー つか
給 食 の エ レ ベー ター を 使 え
る よう に し て ほ し い

たし
確 かに 使 え る と 楽 で す が、必 ず 先生 が 操 作 し
な け れ ば い け ま せ ん。給 食 の 道 具 は エ レ ベー
たー を 使 う ほ ど 重 く あ り ま せ ん の で、頑 張 っ
はこ
て 運 ん で く だ さ い。

あま も なお
雨 漏 り を 直 し て ほ し い

きょういくいんかい ねが
教 育 委 員 会 に お 願 い し ま した。い つ に な る
か は わ か り ま せ ん が、直 し て く れ る そ う で す

べんぎょう やす じ かん
2. 勉 強 や 休 み 時 間 に 使 う も の で 欲 し い 物 は あ り ま す か？

たーざんろーぷ ほ
ターザンロープが欲しい

しょうがっこう
小 学 校 に ターザンロープは 危 険 な の で 設 置
せっち
し て い る 小 学 校 は あ り ま せ ん。ち え ぶんしょう も
どうよう
同 様 に 設 置 で き ま せ ん。

ふりすびー さっかーぼーる やきゅう
フリスビー・サッカーボール・野球

どうぐ ふ
道 具 を 増 や し て ほ し い

フリスビー・サッカーボール・ソフト
ボールのバットを少しずつ増やしま
す。

3. 学校の良いと思うところは何ですか？

みんななか よ
皆 仲 が 良 い

たいいくかん ゆか
体 育 館 の 床 が
なお
直 っ た

じょしと いれ
女 子 ト イ レ が
ようしき
洋 式 に な っ た

あそ ひょう
遊 び の 表 が
あ る こ と

だいひょういいんかい
代 表 委 員 会 が
あ る こ と

クイズ

ぜんこう
全 校 給 食 の 時 に グループ 分 け を す る ツムツムの キャラクター で は な い の は 次 の う ち
ど れ で し ょ う か？

1. ミッキー 2. ミニ 3. ドナルド 4. グーフィー 5. プーさん

現在の北海道(上川)の学校事務を取り巻く言葉の整理 ※2017年2月末現在

学 校 事 務 の 目 的	学校づくり
学 校 事 務 の 目 標	教育環境整備
学校事務職員の職務	学校間連携をととして教育環境整備をすすめる活動
教 育 環 境 整 備	教育予算要望と執行における諸活動 (学校教育に関連する予算の確保及び充実のために行われる創造性あふれる多様なとりくみ)
教育環境整備の視点	ひと的整備 ☆自分づくり・ネットワークづくりなど、学校をとりまく人々との関係を築き、組織化・社会化していく活動 ・事務職員としての資質を高める研修の確立（自己研鑽・相互研鑽） ・学校間における学校事務情報の交流 ・教職員・教育委員会・保護者・地域などとのネットワークづくりを目指した学校間連携会議の設置 ・情報発信（事務だより・HP）と情報受信活動 ・PTAなどとの協力協働による諸活動 など ・学校現場や地域行事における地域人材との交流 など
	ものの整備 ☆施設整備・備品・物的環境整備など、子どもにとっての安心・安全・快適さを追求する活動 ・子どもアンケートなどによる児童生徒・保護者等の意見把握 ・安全性に着目した施設設備や管理備品・教材備品の充足 ・教育課程などに沿った教材教具・学校図書との配備 ・子どもの生活の場としての学習環境づくり ・ICT教育活用のための施設設備（ネットワーク環境整備） など
	かねの整備 ☆予算要望活動・学校財政のサイクルなど、様々な人々の声を反映した学校財政活動 ・保護者負担解消などを意識した教育予算活動 ・効果的な教育活動ができる予算要望活動と効果的な執行 ・学校図書館図書標準の早期達成と充実の促進を図る予算要望活動 ・予算運用や学校財政のサイクル ・学校の情報化・ICT教育環境整備のための年次別整備計画の策定と要望活動
学 校 間 連 携 と は	個人のとりくみが全体に広がりをもたせていく活動
学校間連携会議とは	学校間連携をすすめるための手段

言葉の意味の定義づけ（共通認識を図るために）

- 目 的・・・実現しようとしてめざす事柄。行動のねらい。
 目 標・・・行動を進めるにあたって、実現・達成をめざす水準。
 ◇「目的」は、「目標」に比べ抽象的で長期にわたるためであって、内容に重点を置いて使う
 ◇「目標」は、めざす地点・数値・数量などに重点がある

現段階での3つの視点「ひと・もの・かね」相関図

「自分づくり」や「ネットワークづくり」で培ったひと的整備の土壌に「もの」や「かね」、そして「ひと」の種がふたたびまかれ、学校間連携から注がれる、情報や

